

【フラットエンジョイ 2020】

2020 年、フラット化のもとに走り出した啓文社。これはまだ変化ではなく、自在に変化するために組織を“溶かした”に過ぎない。社員たちは、溶け合い、混ざり合った状態を「カオス」と名付け、楽しむことにした。昨日と同じやり方は捨て、このカオスから誰も予想できない“未来”を形づくるために・・・。

みんなで達成しましょう

6月末期限
数値目標達成度

①「伝えるひろば」使用率

目標：43.5%

現在：30.7%

②「残すひろば」使用率

目標：57.5%

現在：21.9%

大ピンチ

③「未来のひろば」使用率

目標：15.0%

現在：3.2%

大ピンチ

④「つなげるシート」提出数

目標：50件

現在：34件

TOP STORY

「言葉にできる」は武器になる ～フラットな組織のための道しるべを作る旅～

船を造りたいのなら、男どもを森に集めたり、仕事を割り振って命令したりする必要はない。

代わりに、広大で無限な海の存在を説けばいい。

ーアントワーン・ド・サン＝テグジュペリ（1900-1944・フランスの作家、操縦士）

「人を動かす」から「人が動きたくなる」組織へ。このコーナーでは、数回に分け、みなさんの考えを取り入れながら、フラットな組織の行動指針を作り上げていきます。

社員同士、または社長対社員で向き合うのではなく、全スタッフが熊本で一番お客様を思い、考え、実践するために、「道しるべとなる言葉」を自分たちで考え、共有しましょう。

参考図書

梅田悟司著

『「言葉にできる」は武器になる。』

（2016 年、日本経済新聞出版）

『世界は誰かの仕事でできている。』

『この国を、支える人を支えたい。』

トップコピーライターが伝授する、言葉と思考の強化書。

第1回 アウトプットとグルーピング

第1回目の今回は、みなさんに考えをアウトプットしていただき、それを分類してグループ名を付けました。

Q. フラット化した組織では、具体的にどのような行動が大事だと思いますか？（20 字以内）

グループ①

自分軸

- ・規律に従って自ら思考し、自ら行動すること
- ・各自が誰にも聞かずに各々の業務が出来る
- ・自主自律
- ・各自が責任者意識を持って業務にあたる
- ・1人1人が責任感を持って行動する
- ・一人ひとりがプロ意識とスキルを身に付ける
- ・面倒くさい事をこなして自立すること
- ・自分が出来ることは全力でやろう
- ・1人1人、先を考えた行動をする
- ・社員全員が経営者としての意識付け

グループ②

チーム軸

- ・各個人が自立する事で周りを楽に出来る行動
- ・協調性をもって、個の仕事を全うする
- ・目標の具現化・共有・管理の徹底の繰り返し
- ・意見を出そう。でも相手への気遣いも大事
- ・話の節目にその後の行動を必ず確認すること
- ・各自の提案、他の意見の受け入れと事前の報連相
- ・個人に都合がいい為じゃなく会社の為の行動

グループ③

社会軸

- ・お客様が笑顔になる商品の提供と対応力

→次号では、この内容をもとに、さらに考えを広めたり深めたりしていきます。

What does our new president see, read and think?

啓文社の皆さま、いつも大変お世話になっております。

世間を騒がせている新型コロナウイルス騒動は、とりあえず落ち着いてきたのではないのでしょうか。がしかし、これから2次健康被害や第2派が来るといったことが予測され、まだまだ気が抜けない状況です。

そこでこれから重要になってくるのが、人を思いやるという事ではないのでしょうか。思いやる気持ちを持っていれば、他人を批判する、ひどい言葉をかけるといった事はできないでしょう。その小さな思いやりが、周囲の人を明るくし、いい未来を作っていくきっかけとなるはずです。

そこで今回は「川端知義氏」をご紹介します。この方は、セミナーの講師をされている方です。私が以前通った、ご縁紡ぎ大学の3校目の講義を担当された方です。川端氏の講義はこんな言葉から始まりました。

「今の世の中の言葉はネガティブな言葉であふれている。しかしこの講義が終わったら皆さんの言葉はきっとポジティブな言葉であふれるでしょう。」

冒頭の言葉をスタートに講義の内容はひたすらポジティブな言葉を使う。ネガティブな言葉をポジティブな言葉に変換するといった内容でした。なぜこんなにもポジティブな言葉が大事なのか？ それは発する言葉が未来を作っていくからです。

今の皆さんが使う言葉、ポジティブな言葉ネガティブな言葉どちらの割合が多いでしょうか？
またどんな未来を描いているのでしょうか？

生きていくうえで苦しいとき、悲しいとき、これからもいろいろな試練が待っているはず。そんな時こそポジティブな言葉を自分自身に、仲間にかけていきましょう。

そしてまさに今、会社としても苦しい時期になりました。みなさんわくわくしてきましたねー！(^^)！ この時期をどう過ごすかによって間違いなく5年後、10年後の未来が大きく変わりますよ。

さ～、なにを考えたう動いていきましょうか。企画・アイディアどんどん募集しております。私と一緒に明るい未来を作っていきましょう。

レッツポジティブでよろしくー (^^)/

徳永辰太郎

今月のPICK UP!



川端 知義 氏
(かわばた ともよし)
有限会社 passion 代表取締役

イメージトレーニング、コーチング、カウンセリング、ヒプノセラピー、心理学を掛け合わせ、「言葉」「感情」「行動」「イメージ」からなる新しい心理アプローチ「ポジショニング」を伝えている。



連載

“人・本・旅”をテーマに、社長が社外で出会ったものごとや人について紹介します。

(キリトリ)

社長への手紙

社長はみなさんの意見や指摘、提案等を歓迎します。何かあったらここに書いて切り取って渡しましょう。

よりよい会社を
みんなで作るために

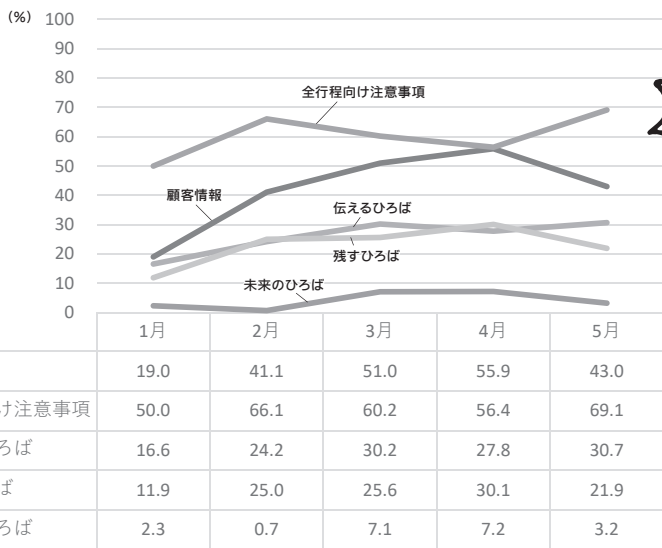
商品カルテ 使用状況報告

今月の営業
スローガン

村木さん：クライアントに寄り添う気持ちを忘れない
相良さん：休眠クライアントへの再アプローチで受注件数増

どちらのスローガンからも
いつも通りに動けない中で
努力されている姿が
伝わってきます。

ひろば 使用率



数値目標達成に向けて
大ピンチ

特集:「残すひろば」と「未来のひろば」を
もっと使ってください!!(土下座)

●「残すひろば」使用率



●「未来のひろば」使用率



その1

残すひろばの活用で超効率化!!

残すひろばは、多能工・事故防止以外にも、効率化に役立ちます。

実例1: 5分×2人の時短

〈デザイン・編集〉印刷用PDFデータ書き出しの際は“ダウンサイジング”しない設定で行う(有働)

年1回のリピート物件でこの情報がなく、作業中、「書き出した後にデータの粗さに気付く→前回担当者に原因を尋ねる→よく覚えておらず前回見本や前回データを確認→原因判明→再度書き出し」という、気の遠くなるような5分間のやり取りが発生してしまいました。次回はこのようなことがないようにすぐに書きました。

実例2: 5～6分の時短

〈加工・仕上〉紙折りメモリNo.048を使用(本越)

この情報があるだけで、設定時間5～6分の短縮となるそうです。

実例3: 5分の時短

〈印刷〉メジウム350g、M260g、25赤350g(有谷)

この情報があると、オペレーター独自の記録帳をから同じ物件を探して配合を確認するという、約5分間の手間が省けるそうです。

その2

未来のひろばは可能性に満ちている!!

予想外の記述や利益が生まれる場所、それが未来のひろばです。

実例4

〈村木さんへ〉そろそろIKKO情報(※顧客情報への書き込み)古くないですか?(有働)
手前味噌ではありますが、先日のしあわせ会議で「あの有働さんの書き込みいいと思ったよ～」と話題に上がりました。与えられるのを待つだけでなく、社内からもお客様の情報を引き出す工夫が大事だと思っています。

今回は新型コロナウイルスの影響下で受注や生産をした物件の回収がメインとなりました。

前回下がっていた「伝えるひろば」が再び盛り返し、伸び悩んでいた「全行程向け注意事項」も大幅アップ。

反対に、順調に伸びていた「顧客情報」「残すひろば」「未来のひろば」は、今回大きくポイントを下げてしまいました。

いいね

パートさん同士の
すばらしい
関係プレー♪

印刷

表紙・本文共に、手帳を10部増やして印刷した。
枚数が少ない(うまい)ので。(鏡りん)

刷り出しチェック: ☐ 要 ☐ 不要

加工・仕上

↑
ご配慮頂きありがとうございます。
丁度良かったです。中野様

問題発見がすべての始まり / つなげるシート

数字報告および解決の内容(2020/4/29～5/28・数字は始動時からの累計)

提出数: 34件
※前号比 +2件

解決に向けて動いているもの: 7件

解決済: 17件(解決率: 50%)
※前号比 +3件(+6.3%)

問題 啓文社オフィシャルホームページのブラッシュアップが必要。

完了日: 2020/5/26

問題発見者: 会長
解決者: 上野さん(リーダー)、デザイン編集課
解決のための方法: 予算8万円でアクセント様に依頼し、素材やページ構成を改善する。
解決のためにかかったコスト: ページデザイン等(上野・有働)5時間、外注費101,000円
解決による利益: 特にトップと製品サービスのページが見やすくなり、イメージ向上につながる。

問題 デザイン編集課の月間個人別売り上げの集計方法が非効率である。

完了日: 2020/5/20

問題発見者: 有働
解決者: 有働(リーダー)、デザイン編集課
解決のための方法: 各自エクセル上での管理・記録をやめ、毎月商品カルテからデータを抽出。
解決のためにかかったコスト: 30分(課内で話し合い+DSA江口社長に相談)
解決による利益: 各自記録と報告書作成時に担当者への提出が不要となり、効率化できた。

問題 1. 商品カルテを見る習慣が徹底していない。
2. コロナ対策でコミュニケーションが不足しがちである。

完了日: 2020/5/14

問題発見者: 有働
解決者: 有働(リーダー)、上野さん
解決のための方法: 全スタッフに「いいねシール」を配布
解決のためにかかったコスト: シール作成1.5時間、用紙+印刷代38円
解決による利益: 事故防止・コミュニケーションの促進・モチベーション向上



「いいねシール」実施中(6月末頃まで)

会社をいいねで満たしましょう



事故防止やコミュニケーションを
目的に、いいねシールの取り組みを
実施中です。期間の終わりに、貼付
されたシールの数を集計し、それを
もとに左のロゴに色付けします。

配布したシールは全部で2,052
枚。そのうちの何割が貼られたかで、
会社におけるいいねの割合が分か
ります。どんどん書いて見て貼っ
て、いいねでロゴを満たしましょう!

全体報告会が生まれ変わります

開催見合わせを経て再開した全体報告会。しあわせ会議で話し合い、6月から以下の通り生まれ変わることになりました。ご協力よろしくお願いいたします。

名称 全員ミーティング ※全員集まる会であることを強調

開催日 全員が出勤する日

※活動方針カレンダーに記載の予定日を含む前後で調整します
※時間は変更なく、13:00～13:30です

内容 数字報告・社長のお話・その他発表

※発表内容はしあわせ会議で選定します
※選定基準は未来につながるものであるか
(「～しました」ではなく「～します」「こうなります」で終わるもの)